

# 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 要点記録

## 第 22 回

開催日時	令和6年2月19日(月) 午後6時30分～7時45分	
開催場所	鷺宮区民活動センター分室	
出席者	委員	高橋洋雄、宮内信子、田村邦彦、早船角雄、内野浩二郎、 瀬尾圭、山口博史、堀井裕子、黒木伸子、安田秀美、 浦野雅晴、古屋悦代、高橋俊之、高橋明、大木美香、佐藤恵、 渡邊健治 (敬称略、名簿順)
	その他	教育長、教育委員会事務局次長
	事務局	学校再編・地域連携係
会議次第	<b>【議事】</b> 1 学校指定品について 2 通学路について 3 校旗について 4 校歌について 5 内覧会について	

## 第22回 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 会議要旨

### 1 開会

委員長

これより第22回学校統合委員会を開催する。本日、傍聴希望者がいるが、傍聴についてこれを許可してよろしいか。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。

### 2 議事

#### 議事(1) 学校指定品について

委員長

議事に入る。「学校指定品について」、事務局の説明を求める。

事務局

学校指定品は資料1のとおり、体育着の上下、通学帽子、水泳帽子、紅白帽子である。鷺宮小学校・西中野小学校の在校生の保護者にサイズ調査を行ったので、3月の中旬頃には各児童に渡せるよう、準備を行っている。

鷺の杜小学校の学校指定品について

○体育着シャツ

生地：白 文字・ライン：緑

前面



背面



○体育着パンツ

生地：ブルー ライン：緑



○通学帽子

生地：グリーン 校章ワッペン付



○水泳帽子

色：ピンク、マジックテープ付



○紅白帽子



委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

全学年この通学帽子をかぶるのか。

委員

1年生は黄色い帽子が支給されるので、安全面の理由から黄色い帽子を被り、2年生から通学帽子を被る。通学帽子は、2年生に上がる時に保護者に購入していただく。

## 議事（２）通学路について

委員長

次に、「通学路について」、事務局の説明を求める。

学校再編・地域連携担当課長

前回の統合委員会において、9月の保護者説明会で鷺の杜小学校の通学安全対策について説明したが、12月に改めて両校の保護者向けに説明会を開催し、具体的な安全対策と新校の通学路の案などについて説明した。説明会資料は事前に委員の皆様にお送りしたとおりである。通学路は、両校より、所管の警察に届出し、資料2のとおり決定したとの報告があった。地域の皆様にも、引き続き鷺の杜小学校に通学する子どもたちの見守りにご協力をお願いしたい。次に先日行われた通学訓練について両校より報告をお願いする。

委員

鷺宮小学校は、2月15日木曜日に、プレ登校として、1年生から5年生の児童に8時15分から8時30分の間に鷺の杜小学校校舎に集合できるよう、自宅から歩いてもらった。プレ登校後に保護者にアンケートをとり、回答が58件あったので報告する。鷺の杜小学校まで保護者が一緒に歩いたか、途中まで一緒に来たか、児童だけで来たかという質問については、保護者が一緒に歩いた家庭が58件中約半分、児童だけで登校した家庭が半数で、大体同じぐらいの割合だった。危険と思われる場所には警察官が2人、ふれあいポリスが2人来て下さり、それ以外にも地域の方など、皆さんにご協力いただいた。危険だと思ったところは、1つは鷺宮小学校と鷺の杜小学校の間の中杉通りの信号のところである。静止しても止まらない自転車がいたり、信号を渡る際の待機場所の確保が難しく、きちんと指導しなければいけないという声があった。もう1つは、北校舎南東交差点のところである。一時停止の表示はあるが、自転車がかなりの勢いで降りてきて、警察官が1台自転車を制止している間に、隣をすり抜けて走る自転車もあった。横断歩道が正門前の道路にないので、どこを渡るのかも課題である。時間としては7時45分から8時頃の通行量が多く、8時以降は自転車も人も減った。プレ登校により、保護者からは子どもと安全を確認できてよかったという声をいただいている。危険箇所については、区の所管部署に対し、ラインを引いてほしいなど要望している。

委員

西中野小学校では、2月16日に踏切横断訓練を実施した。昨年11月に続き、2回目となる。前はクラスごとに踏切を渡るという形をとったが、今回はより実際に近い形で、クラスや学年を混ぜて横断訓練を行った。1時間目に警察官から全体の注意事項の話をしていただいた後、2時間目、3時間目、4時間目と分けて、警察官立ち会いのもと、順番にグループを分けて踏切を横断し、新校舎のエントランスまで行った後、戻ってくるという形で実施した。一番心配な踏切横断を中心に練習したが、朝のラッシュ時間帯ではなく、踏切が比較的開いている時間だったことや、警察官の注意喚起や声かけにより、危険や問題なく渡ることができた。ただ、踏切北側の学校までの道路は路側帯が左側にしかなく、正門前の道路は右側にしか路側帯がないので、どこを歩かせるのが一番安全か、横断歩道を設置できるかなど、警察や区と調整をしているところである。今回は学校から新校舎までというルートで訓練したが、自宅から新校舎までの通学練習もしていただくよう保護者の方々に呼びかけていきたい。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

通学路になっている踏切ではなく、鷺ノ宮第4号踏切や3号踏切を通りたいという要望はあったか。

委員

お話はあったが、学校としては滞留場所や安全面の理由から、2号踏切を通学路として設定し

たとお話した。ただし、利便性のことも考えて、保護者の方の責任で他の踏切を横断するのは、妨げないということは伝えてある。

委員

12月の保護者説明会の中で、3号踏切や4号踏切を渡りたいという声もあったが、学校としては2号踏切を通学路として設定し、そこに区の方で警備員4人を配置するというので、保護者の了解を求めてきた。ただ、保護者が仕事に向かうときに一緒に連れて歩くので別の道を使いたい等というのであれば、個人調査カードに記載いただき、通学いただく。

委員

自分の子どもには通学路を通らないと事故が起きた際に保険が適用されなかったり、通学路ではない道は見守りが手薄だから通学路を通ったほうが良いと話をしてきた。やはり通学路は警備や見守りが手厚いのか。

委員

学校は、PTA、教育委員会、区の関係部署等と一緒に安全点検を行い、協議をしながら安全だろうと判断した道路を通学路に設定しており、保護者にはなるべく早く通学路に入ると伝えてあるので、ご家庭でも通学路を通るよう子どもに伝えてほしい。

委員

地域にも通学路を周知する必要がある。特に2号踏切は児童以外にも朝の通勤時の利用が多いので、4月から多くの児童が通ることについて、広く地域に周知しておくだけでも、危険回避や地域の方々の理解につながるだろう。

学校再編・地域連携担当課長

先日、2号踏切の近隣住民のお宅へ訪問し、子ども達が通ることについて周知して回った。より範囲を広げて周知できるよう、掲示板を活用した周知などについて、検討を進めている。

委員

掲示板か町会の回覧板でも良い。周知により地域の対応も変わると思うのでぜひ願います。

学校再編・地域連携担当課長

通学路は「統合委員会ニュース」にも掲載し、町会の回覧板で周知いただきたいと思います。

委員

町会による見守りについては話が出ているか。

委員

町会としても、児童が安全に通学できるように協力したいが、どこに相談したら良いか。

委員

私は特に頼まれた訳ではないが、自身なりの考えで自宅前や学校前に立ち、子どもの見守りをしている。今後通学路が変わるので、見守りする場所は、定点が良いのか、自転車で回るのが良いかなど、私も考えているところである。

委員

鷺宮小学校ではPTAから町会に見守りの依頼をしていたことはあったかと思う。学校からもお願いした方が良く思っている。

### 議事(3)校旗について

委員長

次に、「校旗について」、事務局の説明を求める。

事務局

会場に展示してあるが、刺繍校旗が完成した。濃いグリーンの生地に校章の月桂樹と鷺が金糸と銀糸で刺繍されており、竿頭にも校章が打出しされている。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

これとは別に、掲揚校旗もあるのか。

事務局

掲揚校旗も濃いグリーンで作成する。校章は白となる。

委員

スクールカラーが濃いグリーンになるのか。

委員

スクールカラーという言い方がふさわしいかは分からないが、学校の色を濃いグリーンとし、通学帽子や刺繍校旗、体育館の緞帳なども濃いグリーンにした。大変良い色に仕上がっている。

#### 議事（４）校歌について

委員長

次に、「校歌について」、事務局の説明を求める。

事務局

若松敏さんに作詞・作曲を依頼した鷺の杜小学校校歌が完成したので披露する。

委員

校歌は録音して公表しても良いか。

事務局

広く公表するのは、新校が開校してからでお願いしたい。それでは披露する。

（校歌）

（一同拍手）

委員長

すばらしい。

委員

学校では現5年生が始業式のときに校歌を歌えるよう練習している。先日、校歌を作詞・作曲した若松敏先生が、両校に校歌の指導に来てくださり、より一層良い合唱になった。2部合唱でできており、子どもたちが歌うとまた違った歌が聞けるだろう。鷺宮小学校 140 周年のときに若松敏先生と作詞家の高木あきこ先生が、鷺宮小学校と西中野小学校の子どもたちの様子を聞いたうえで、「ともだち時間」という歌をつくってくださった。儀式的な行事のときは鷺の杜小学校校歌、児童会活動や集会活動のときには、「ともだち時間」を歌うなど、対になる歌ができた。「ともだち時間」は鷺宮小学校の閉校式でも歌う。

委員長

校歌を聞いて、何か意見・感想はあるか。

委員

拍手のとおりである。すばらしい。

#### 議事（５）内覧会について

委員長

次に、「内覧会について」、事務局の説明を求める。

事務局

新校舎の内覧会の日程は、3月23日土曜日の午後2時から4時までである。ご案内は後日皆様へお送りする。当日都合がつかない方は、学校開校後に学校公開日等でご覧いただきたい。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

内覧会に参加できるのは誰か。

事務局

総合委員会委員や過去の統合委員会委員、町会長、鷺小を語る会のメンバー、地域学校運営協議会委員、次世代育成委員、区議会議員、教育委員などを招待する。

委員

町会の役員だけでも別日を設けていただけるか。

事務局

招待者以外の方については、開校後、学校公開日などにご覧いただきたい。

委員

鷺宮活動センターの広報誌で取り上げたいが、内覧会の際に取材をしても良いか。

事務局

取材であれば可能である。

### 3 閉会

#### 閉会（1）各委員より一言

委員長

本日は最後の統合委員会ということで、各委員より一言ずつ感想をお願いします。

委員

気になっているのは踏切の問題だけで、これさえうまくいけば問題ないと思う。交通安全指導員が4人踏切につくようだが、配置場所は決まっているのか。

学校再編・地域連携担当課長

踏切両側に1人ずつ、児童の滞留場所に1人、もう1人は警察の意見を元に検討中である。

委員

歴史ある小学校が統合し、地元新しい小学校が生まれるということで、地域の注目度の高さを感じた。校名・校章の応募数や、学校について質問される機会の多さからもうかがえた。統合委員会委員として様々なことに関われたことはとても良い思い出であり、名誉なことだった。校名は初見で良いと思ったものが「鷺の杜」であり、私としては良かった。校章は、多くの応募があった中、最後の決選投票の2つに選ばれたもののうち、惜しくも敗れたものが娘の夫がデザインしたものだった。これも良い思い出である。

委員

校名を決める時、最初は決まらないのではないかと思ったが、できた校章や校歌を見て、鷺の杜でよかったと思う。新しい学校のことを決めていくことに関われたことは私の財産になった。統合に際し、鷺宮小学校と西中野小学校の文化の違いを感じ、それをすり合わせていく難しさ、新しいものをつくる喜びがあった。

委員

第1回から紆余曲折ありながら長いこと携わらせていただき感謝している。開校し、無事に学校生活を送れるのが一番なので、開校後も、都度、踏切などの問題を解決していただきたい。新校舎もきれいで、校歌もすばらしく大変感動した。開校がとても楽しみである。

委員

委員会の中で、皆さんの広い心で受け止めていただきながら、言いたいことは言わせてもらった。新校開校のために集まった最終メンバーの皆さんと時間をともに過ごせたことは私の貴重な財産である。

委員

第1回からほぼ休むことなく参加させていただき、長期間携わることができたことは本当に貴重な経験だった。踏切問題については最初から言っていたにも関わらず課題が残ったままで、自分の中でも働きかけが足りなかったかと残念な思いもあるが、今後も見守っていきたい。早く新校舎を見たいという思いが強いので、内覧会が楽しみである。

#### 委員

第1回から長い間参加させていただき感謝している。初めは旧第八中学校の道路上空通路（渡り廊下）を小学生用にどうするか、地震が起ったらどうするかなど様々協議したが立派なものができてよかった。踏切や通学路の問題は、保護者と子どもたちだけではなく、地域の問題なので、みんなで見守っていききたい。それができる地域だと思っている。新校舎を外から覗くときれいで、早く中に入って見てみたい気持ちでいる。先日1年生の女の子から、新しい学校について「すごくきれいで4月から楽しみ」という言葉が聞けて、この言葉が全てだと感じた。

#### 委員長

道路上空通路は6メートルという非常に広いものができて本当によかった。

#### 委員

西中野小学校の地域の代表として、地域の意見がなるべく生きようという考えで参加し、様々な意見を言ってきた。校名や校章については違うものが良かったのではないかなど、色々な思いはあるが、子どもたちや地域の中に鷺の杜という名前が根づいており、大きな期待を寄せているを感じる。新しい校舎・施設を大いに活用し、先生たちも実力を発揮してもらい、子どもたちのより良い教育が進むことを願っている。個人的にはこの西中野小学校と共に地域や子どもたちと歩んできたので、閉校に際して自分のライフプランを考え直そうかと思っているところであるが、新しい学校も地域で見守って、みんなで盛り上げていきたい。

#### 委員

第1回から学校の基本設計や、校名、校章、校旗、校歌と様々な協議に携わり、鷺の杜小学校のスタートの一助になれたことを大変うれしく思っている。新校の用地が公道によって2つに分断されており、南北に大きな高低差もあるという非常に特殊な立地条件の中で、どうやって良い校舎にするか、渡り廊下をどうするかなど、様々な課題を乗り越えて、立派な校舎が誕生し、携わった全ての関係者の方に本当に感謝申し上げる。個人的には今も鷺の杜小学校の立地条件は小学校としては不適切な立地だと思うが、様々な方法で乗り越えていくであろうと期待している。統合委員会当初から言っていた踏切問題については、立体横断施設設置の要望は区に伝えていたのに今日まで進展がないのは、非常に残念である。行政としてもっと努力を尽くすべきだった。いろいろと意見を申し上げたが、新たにスタートする学校で、児童が元気で健やかに良い学校生活を送れることを祈っている。

#### 委員

娘が西中野児童館に通っているときに推薦していただき統合委員会に入った。第1回は平成30年7月10日で、生後9カ月の娘を連れてきた。そんな娘ももう6歳で、4月から鷺の杜小学校の1年生として通うことになっている。委員として携わることができ、委員の皆さん、区役所の方々には大変感謝している。

#### 委員

私は令和4年度からこの会に参加している。野方小学校と沼袋小学校のときには教員として学校の統合を経験したが、そのときは統合委員会で決まるとおりに動いていただけだった。今回は委員として、一つ一つこの委員会で、皆さんと議論をして決めていくということを通して、学校や子どもたちに対する地域の方の熱い思いと愛情を感じることができた。学校というのは地域でつくっていくのだということを経験させていただいた。学校施設の課題はあるが、子どもたちに先日、新校舎の動画を見せると、単純に「わあ、きれい、楽しみ、早く行ってみたい」という声が聞こえ、この気持ちを大事にしていかなければいけないと思った。やはり通学路については、まだまだ保護者の方々の不安もあると思うが、学校として、安全に子どもたちが登下校できるように引き続き指導しながら、楽しく開校を迎えられるようにしたい。

#### 委員

2年間、最終メンバーとして参加させていただき感謝している。校名も校章も、最初に選んだものとは違っていたが、今では自分が決めたくらいなじんで、良い校名、良い校章になったと感

じている。刺繍校旗でも、色や大きさなど考えることがたくさんあり、大変さを感じたが、本日実物を見て、良いものができたと感じている。踏切や校舎のことなど様々問題はあるが、4月から混乱なく開校させることが私の仕事だと思っている。この会で、皆さんの地域愛や学校愛、子どもたちへの愛を本当につくづく感じた。開校まであとわずかだが、最後まで見届けてほしい。

委員

前任者から、北校舎と南校舎をつなぐ通路の幅が問題になっていると聞いて参加したが、本当に逃げるときには通路をどうするではなく、一番逃げやすいところに逃がすというのが大事だと思っている。校舎については、やはり子どもがそこで気持ちよく学べ、充実した学びができるようにという考えで意見を述べてきた。教育委員会の担当者には、統合委員会だけではなく、校舎の設計や新規什器の手配など様々やっていただいた。また、明和中学校区のコミュニティ・スクールの中でも学校からの要望を聞いていただき、新しい学校や変化する時代における小学校教育が少しでも良くなるようにと力添えをいただいた。そのことにも感謝申し上げる。ここで委員の皆さんと話し合ったことは、今後の鷺の杜小学校の教育活動に生かしていきたい。

委員

皆さんの話を聞いて、その場面、場面を思い出しながら、こんなに多くの応援団がいるのだと、大変心強く思っている。教員としても、新しい学校づくりというのは、本当にこのタイミングでしかできないものであり、貴重な体験をさせていただいた。学校の中では次年度の計画や教育課程といった教育内容などを、この2年間、両校の教員が集まって知恵を絞ってきた。まだ検討事項はあるが、子どもたちはプレ登校で校舎を見て、すばらしい、と期待感ではち切れそうになり、その後、鷺宮小学校に戻ったときには「ああやっぱり安心する」と言って、今の学校も大好きである。その気持ちが合わさって、とても素敵な学校ができそうだと感じている。

学校再編・地域連携担当課長

私は令和4年10月頃から参加したが、やはり踏切を含めた安全対策が大きな課題であるとして引き継ぎを受けた。開校にあたって、踏切に警備をつけて児童が安全に渡れるようにはするが、私としてはまだ課題が残っており、引き続き安全対策については検討していきたい。先日鷺宮小学校で児童が校歌を合唱するのを聞いて非常に感動した。開校式で両校の児童が合わせて歌うのを聞くのが大変楽しみである。

副委員長

6年間という長い統合委員会の中、進んでいないこともあり、問題も残ってはいるが、私はまだ地域にいるので、どんどん使っていただき、様々な面で協力していきたいと思っている。

委員長

委員長として選任いただいたことに感謝している。踏切問題は今でも心配しているが、関係機関との関わりもあるので、現段階では仕方がないと理解もしている。子どもたちが安心安全に通学できることが第一である。私が小学校に入学したときは戦時中で鷺宮国民学校だったが、皆さんのお力添えをいただきここまで来られた。23日の内覧会を楽しみにしている。本当に、長い間のご協力に感謝申し上げます。最後に教育委員会より教育長と次長より挨拶をお願いする。

教育長

委員長、副委員長はじめ、統合委員会の皆様には長い間大変お世話になった。おかげさまで開校に一步近づくことができた。教育委員会としても、通学路の踏切の件は、課題として残されているという認識は持っている。まちづくりに合わせて、子どもたちが安心安全に学校に登校できるようすることが仕事であり、統合委員会は今日が最後だが、今後またご相談をさせていただくこともあると思う。先ほども校歌の話が出ていたが、校歌というのは、作詞、作曲される方によると、子どもたちが歌えば歌うほど変わっていくそうである。歌は生きている、成長しているという。それと同じく、鷺の杜小学校もこれから子どもたちが通うようになると、保護者の方、地域の方、そして先生たちとで、形がつくられ、変化して、良いものになっていくのだろう。そのお手伝いをしていくのが教育委員会だと思っている。私は新しい学校に入る校長先生には必ず、



「校舎を使い切ってください。使い倒してください」と言う。新しい学び方に合わせた新しい校舎となるよう努力しているので、子どもたちと一緒に、子どもたちを主役に今までの学び方でない学び方を考えてほしい。保護者の方、地域の方も、ぜひお力添えいただきたい。

教育委員会事務局次長

10年ぐらい前、管理職になって初めて着任したのが鷺宮すこやか福祉センターの地域支援担当副参事で、そのときから委員長などにはお世話になり、鷺宮では随分勉強させていただいた。それからも鷺宮のことや統合のことはいつも気にかけてきた。当時はちょうど第四中学校と第八中学校が統合するときで、そのときも鷺宮の地域の方には色々と真剣に考えていただいたが、今回も鷺宮の皆さんより、子どもたちのために、本当に真剣に協議していただき、ご意見をいただいた。まだ解決しない問題もたくさんあると認識している。ここで皆様方に土台をつくっていただいて、4月からスタートすることになったが、あくまでもここからがスタートであり、終わりではない。皆様方にもぜひ新校を育てていただき、教育委員会としてもしっかりと問題に向き合い、皆様方と歩調を合わせながら、一つ一つ問題を解決していきたい。

委員長

本当に、皆様方に心より感謝申し上げます。以上をもって鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会を終了する。